

## 令和2年度めむろ新嵐山株式会社の経営状況について

### 1 第20期営業報告書

- (1) 第20期事業報告書
- (2) 貸借対照表
- (3) 損益計算書
- (4) 販売費及び一般管理費内訳書
- (5) 株主資本等変動計算書
- (6) 監査報告書
- (7) 第21期事業計画書
- (8) 第21期予算書

### 2 経営分析

- (1) 月別宿泊者数及びスキー場利用者数の推移
- (2) 年別宿泊者数及びスキー場利用者数の推移
- (3) 営業分析

# 第 20 期 営 業 報 告 書

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 3 1 日

河西郡芽室町中美生 2 線 4 2 番地

めむろ新嵐山株式会社

## 第20期事業報告書

自 令和 2年 4月 1日

至 令和 3年 3月31日

当社は芽室町最大の観光施設であり、町民の健全なレクリエーションを図るとともに観光の振興に寄与するために設置された「新嵐山スカイパーク」を管理・運営するため、芽室町100%出資により、平成14年3月6日に設置され、同年4月1日より事業を開始し、実質的には今期が19年目となっております。

芽室町が策定した新嵐山活用計画「リュラル イン ザ・スカイパーク」に基づき、令和2年6月に「行動計画」を定め、以降それに添い、運営に関わる全ての見直しを進めております。

施設の運営方針として、次の4つを目標としました。

1. 商品力を「地域性・環境・風土」にする
2. 宿泊・フィールド（スキー場）・飲食を基本的な柱とする
3. 施設全体を統一したコンセプトで表現する
4. 利益を出し「継続可能な事業として存続」する

上記に基づく見直し作業は、利用者様から多くのご意見・ご指摘を頂きましたが、町担当者様から利用者様への説明などのサポートを頂きながら、現在も改革を止める事なく進めております。

主な見直し項目及び新規取り組みについては、次のとおりです。

### 【見直し項目】

1. パークゴルフ場の縮小
2. 宴会対応の見直し
3. リフト券販売方法の見直し（無料リフト券の廃止）
4. ナイター営業の縮小

### 【新規取り組み】

1. 地域性を宣言する「新お弁当」の提案
2. 新キャンプ場のトライアル営業開始
3. リフト料金・運用の見直し
4. ノンスキーヤー・スキー初心者の集客促進（そり広場・初心者エリアの設置）
5. スノーキャンプの実施
6. レストランメニューの変更

また、コロナ禍の影響を想定し「影響の大きなコンテンツ」「影響の少ないコンテンツ」を見極めながら、影響の少ないスキー場・キャンプ場の集客に注力しました。

以上のことから、全社売上は162,419千円（前年比84.9%）となりましたが、これについては、指定管理料の見直しが含まれており、実質売上ベースでは71,350千円（前年比56.9%）と大きな落ち込みとなりました。その中で、リフト料金売上（スキー場部門収入）が31,509千円（前年比95.3%）、レストラン売上（宿舎部門収入）が14,083千円（前年比82.5%）とそれぞれ健闘しましたが、コロナ禍の影響が大きな宿泊・宴会売上は大きく減少することとなり、当期利益は14,282千円の純損失という大変厳しい結果となりました。

今後においては、来期コスト削減を進めながら、再度コロナ禍の影響を想定しつつ、改善に努めるよう、役員、社員が一丸となって努力して参ります。

貸借対照表

代表者 佐野 寿行

令和 3年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	前 期 額	構成比	決 算 額	構成比
( 資 産 の 部 )				
I 流 動 資 産	( 42,475,399 )	( 96.2 )	( 50,629,683 )	( 97.3 )
現金及び預金	38,299,819	86.8	47,364,043	91.0
売掛金	1,777,335	4.0	1,101,729	2.1
たな卸資産	1,497,831	3.4	1,357,999	2.6
前払費用	104,910	0.2	104,910	0.2
未払法人税等	181,121	0.4	1,000	0.0
立替金	84,383	0.2	170,002	0.3
仮払金	530,000	1.2	530,000	1.0
II 固 定 資 産	( 1,656,016 )	( 3.8 )	( 1,403,939 )	( 2.7 )
有形固定資産	( 1,656,016 )	( 3.8 )	( 1,403,939 )	( 2.7 )
車両運搬具	1	0.0	1	0.0
工具、器具及び備品	1,656,015	3.8	1,403,938	2.7
無形固定資産	( 0 )	( 0.0 )	( 0 )	( 0.0 )
投資その他の資産	( 0 )	( 0.0 )	( 0 )	( 0.0 )
III 繰 延 資 産	( 0 )	( 0.0 )	( 0 )	( 0.0 )
資産の部合計	44,131,415	100.0	52,033,622	100.0

(単位:円)

科 目	前 期 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比
( 負 債 の 部 )				
I 流 動 負 債 金	( 12,750,679 )	( 28.9 )	( 24,566,407 )	( 47.2 )
買 掛 金	703,352	1.6	678,480	1.3
1年以内返済長期借入金	0	0.0	6,672,000	12.8
未払費用	2,558,491	5.8	3,236,740	6.2
未払法人税等	7,588,936	17.2	10,823,887	20.8
未払消費税等	90,000	0.2	180,000	0.3
未払消費税	1,748,900	4.0	2,973,800	5.7
前受	31,000	0.1	1,500	0.0
仮受	30,000	0.1	0	0.0
II 固 定 負 債 金	( 0 )	( 0.0 )	( 10,548,000 )	( 20.3 )
長期借入金	0	0.0	10,548,000	20.3
負債の部合計	12,750,679	28.9	35,114,407	67.5
( 純 資 産 の 部 )				
I 株 主 資 本 金	( 31,380,736 )	( 71.1 )	( 16,919,215 )	( 32.5 )
1.資 本 金	30,000,000	68.0	30,000,000	57.7
2.資 本 剰 余 金	( 0 )	( 0.0 )	( 0 )	( 0.0 )
3.利 益 剰 余 金	( 1,380,736 )	( 3.1 )	( 13,080,785 )	( 25.1 )
(1)そ の 他 利 益 剰 余 金	( 1,380,736 )	( 3.1 )	-13,080,785	( - )
繰 越 利 益 剰 余 金	1,380,736	3.1	13,080,785	25.1
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等	( 0 )	( 0.0 )	( 0 )	( 0.0 )
III 新 株 予 約 権	( 0 )	( 0.0 )	( 0 )	( 0.0 )
純 資 産 の 部 合 計	31,380,736	71.1	16,919,215	32.5
負債・純資産の部合計	44,131,415	100.0	52,033,622	100.0

損益計算書

令和 2年 4月 1日から  
令和 3年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	前 期 額	構成比	決 算 額	構成比
I 売上高	( 191,216,176 ) 191,216,176	( 100.0 ) 100.0	( 162,419,850 ) 162,419,850	( 100.0 ) 100.0
II 売上原価	( 31,271,099 )	( 16.4 )	( 13,381,378 )	( 8.2 )
仕入高	1,422,132	0.7	1,497,831	0.9
仕入高	26,897,044	14.1	11,503,174	7.1
仕入高	1,345,125	0.7	359,589	0.2
仕入高	2,747,171	1.4	837,168	0.5
仕入高	357,458	0.2	541,615	0.3
仕入高	32,768,930	17.1	14,739,377	9.1
仕入高	1,497,831	0.8	1,357,999	0.8
仕入高	159,945,077	83.6	149,038,472	91.8
III 販売費及び一般管理費	( 166,577,775 )	( 87.1 )	( 177,545,149 )	( 109.3 )
販売費及び一般管理費	166,577,775	87.1	177,545,149	109.3
営業損	6,632,698	3.5	28,506,677	17.6
IV 営業外収益	( 1,580,687 )	( 0.8 )	( 15,429,431 )	( 9.5 )
雑収入	16,501	0.0	6,561	0.0
雑収入	1,564,186	0.8	15,422,870	9.5
V 営業外費用	( 0 )	( 0.0 )	( 0 )	( 0.0 )
経常損失	5,052,011	2.6	13,077,246	8.1
VI 特別利益	( 0 )	( 0.0 )	( 0 )	( 0.0 )
VII 特別損失	( 6,926,902 )	( 3.6 )	( 1,204,275 )	( 0.7 )
役員退職金	0	0.0	814,000	0.5
共済組合返還金	6,926,902	3.6	0	0.0
固定資産除却損	0	0.0	390,275	0.2
税引前当期純損失	11,978,913	6.3	14,281,521	8.8
法人税、住民税及び事業税	180,000	0.1	180,000	0.1
当期純損失	12,158,913	6.4	14,461,521	8.9

販売費及び一般管理費の計算内訳

令和 2年 4月 1日から  
令和 3年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	前 期 額	売上高比率	決 算 額	売上高比率
給職料手当	84,249,732	44.1	99,242,270	61.1
職員員教育	16,247	0.0	23,545	0.0
販売告員宣	491,594	0.3	23,032	0.0
販売告送配	2,135,803	1.1	3,732,858	2.3
販売告送配促	947	0.0	0	0.0
販売告送配促手	264,405	0.1	101,018	0.1
販売告送配促手	2,519,795	1.3	1,473,034	0.9
販売告送配促手	101,881	0.1	97,781	0.1
販売告送配促手	360,000	0.2	360,000	0.2
販売告送配促手	5,701,027	3.0	5,607,776	3.5
販売告送配促手	10,762,355	5.6	11,880,269	7.3
販売告送配促手	531,349	0.3	488,149	0.3
販売告送配促手	224,382	0.1	478,886	0.3
販売告送配促手	476,668	0.2	401,802	0.2
販売告送配促手	838,219	0.4	908,098	0.6
販売告送配促手	1,395,750	0.7	3,447,018	2.1
販売告送配促手	949,368	0.5	712,108	0.4
販売告送配促手	996,072	0.5	986,676	0.6
販売告送配促手	28,880,161	15.1	22,578,733	13.9
販売告送配促手	269,500	0.1	412,650	0.3
販売告送配促手	169,397	0.1	55,556	0.0
販売告送配促手	1,345,851	0.7	1,414,585	0.9
販売告送配促手	4,578,981	2.4	9,221,628	5.7
販売告送配促手	534,971	0.3	533,100	0.3
販売告送配促手	6,500,179	3.4	5,235,319	3.2
販売告送配促手	8,629,760	4.5	5,745,582	3.5
販売告送配促手	750,414	0.4	829,473	0.5
販売告送配促手	1,960,623	1.0	723,663	0.4
販売告送配促手	942,344	0.5	830,540	0.5
合 計	166,577,775	87.1	177,545,149	109.3

たな卸資産の計算内訳

令和 3年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	前 期 額	売上高比率	決 算 額	売上高比率
商 品	1,497,831	0.8	1,357,999	0.8
合 計	1,497,831	0.8	1,357,999	0.8



## 株主資本等変動計算書

令和 2年 4月 1日から  
令和 3年 3月 31日まで

	前 期 額 (円)	決 算 額 (円)
I 株 主 資 本		
1. 資 本 金		
当期首残高	30,000,000	30,000,000
当期変動額	0	0
当期末残高	<u>30,000,000</u>	<u>30,000,000</u>
2. 利 益 剰 余 金		
(1) その他利益剰余金		
繰越利益剰余金		
当期首残高	13,539,649	1,380,736
当期変動額		
当期純損失	-12,158,913	-14,461,521
当期末残高	<u>1,380,736</u>	<u>-13,080,785</u>
その他利益剰余金合計		
当期首残高	13,539,649	1,380,736
当期変動額		
当期純損失	-12,158,913	-14,461,521
当期末残高	<u>1,380,736</u>	<u>-13,080,785</u>
株主資本合計		
当期首残高	43,539,649	31,380,736
当期変動額		
当期純損失	-12,158,913	-14,461,521
当期末残高	<u>31,380,736</u>	<u>16,919,215</u>
II 評価・換算差額等		
当期首残高	0	0
当期変動額	0	0
当期末残高	<u>0</u>	<u>0</u>
III 新株予約権		
当期首残高	0	0
当期変動額	0	0
当期末残高	<u>0</u>	<u>0</u>
純資産の部合計		
当期首残高	43,539,649	31,380,736
当期変動額		
当期純損失	-12,158,913	-14,461,521
当期末残高	<u>31,380,736</u>	<u>16,919,215</u>

## 個別注記表

令和 2年 4月 1日から  
令和 3年 3月 31日まで

I. この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

### II. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. たな卸資産の評価基準及び評価方法  
最終仕入原価法による低価法を採用しております。

2. 固定資産の減価償却方法  
(1)有形固定資産  
定額法又は旧定額法を採用しております。

3. 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。

### III. 貸借対照表等に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額 4,740,277円

### IV. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 発行済株式総数 600株

以上

以上のとおり御報告申し上げます。

令和3年6月3日

めむろ新嵐山 株式会社

代表取締役 佐野 寿 行

取 締 役 佐々木 快 治

取 締 役 小 林 徳 昭

取 締 役 渡 邊 太

# 監査報告書

私たち監査役は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの第20期事業年度の取締役の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき、以下のとおり報告いたします。

## 1. 監査の方法及びその内容

各監査役は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 取締役の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和3年6月3日

めむろ新嵐山株式会社

監査役 武田 清 壽



監査役 松浦 智 幸



## 第 2 1 期事業計画書

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月 31日

第 2 0 期の事業をふまえ、第 2 1 期事業計画を申し上げます。

第 2 1 期は、2021 年夏期運営計画及び 2021 年ウィンターシーズン運営計画に基づき事業を進めてまいります。

2021 年夏期運営計画の概要であります。コロナ禍の影響を考慮し、運営コスト・イニシャルコストの軽減を意識した上で新嵐山の特徴づけに注力した新しい価値観をアピールします。

新規トライアル及び強化コンテンツについては、次のとおりです。

- バーベキューテラスの新設
- ハンモックフォレスト新設
- 1 階レストラン「スカイパーク」の活用  
(ファーマーズベース展開/地域食材の販売等)
- わんぱく広場・ファミリー限定サイト等の新設
- グランピングの増設
- 四輪バギー・ファットバイクの販売強化

主として、前期にトライアル営業を実施したキャンプ関連事業の魅力強化を行いながら、「来場者増→滞留時間延長→付帯売上増」を図り、フィールド部門キャンプ売上を 13,893 千円に設定（キャンプ食事を含む）します。

次に、2021 年ウィンターシーズン計画の概要であります。「多様性のあるファーストタイマーに優しいフィールドで十勝 NO1 を目指す。」とし、スキー関連事業を強化、ノンスキーヤー・スキー初心者を取り込みながら、集客増と付帯売上増を図ります。

なお、主な取り組みについては、次のとおりです。

- 第二リフト運行方法の変更
- 安心・安全リフト乗車サポート
- 初心者エリア充実
- そり広場拡充
- スノーグランピング営業
- 未就学・初心者プログラム「長靴クラブの設定」
- フードコート自社運営店舗増による「販売強化」
- 冬期宴会プラン・宿泊プランの販売強化

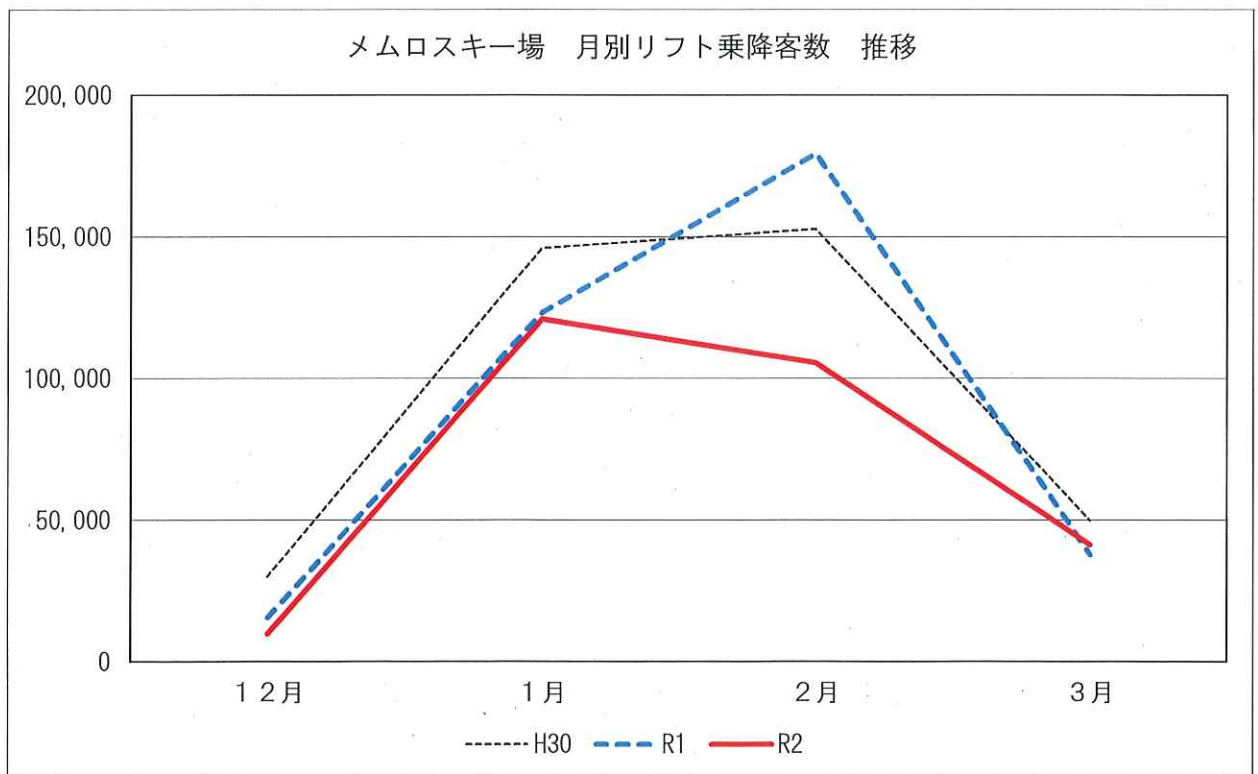
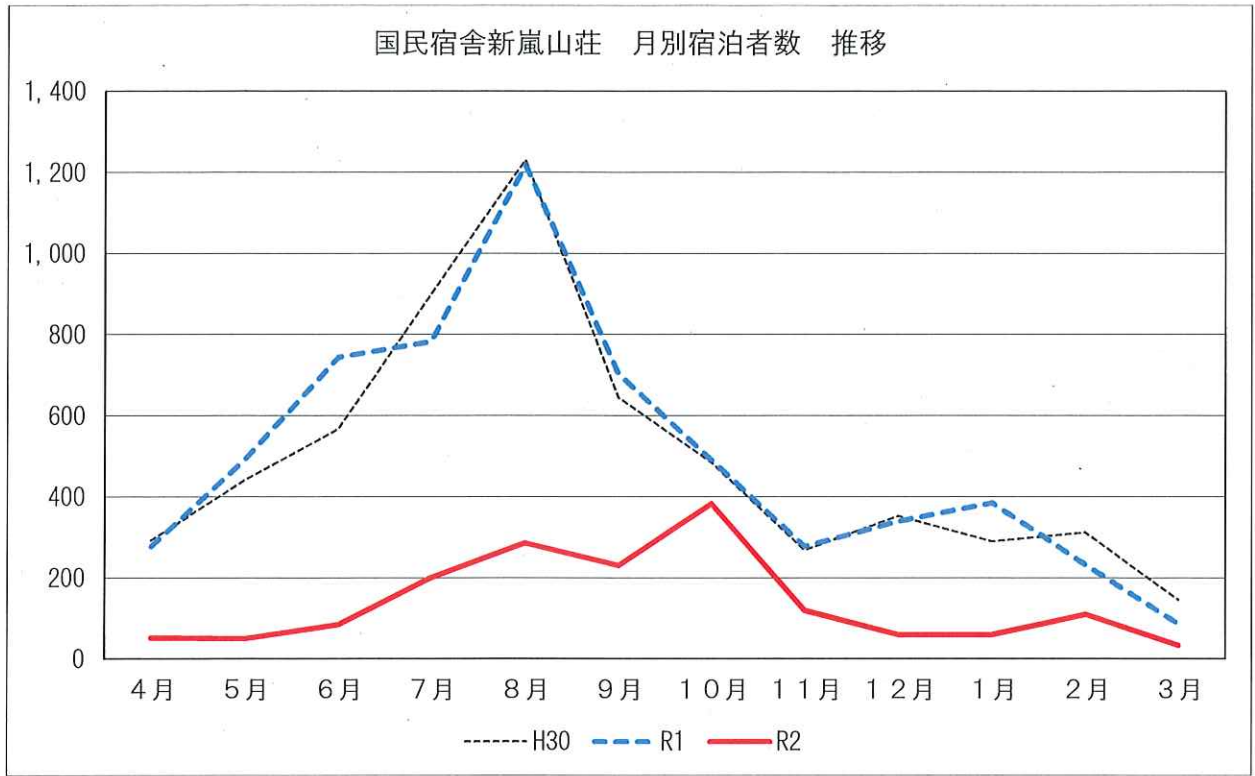
以上のことから、今期もコロナ禍の影響を想定した上で、夏期は「影響が少ないコンテンツの販売強化」を、冬期は「コロナ禍の影響が軽減され販売に改善が期待できるコンテンツの販売強化」を図りながら、年間売上 223,018 千円を目指します。

損益計算書（第21期計画）

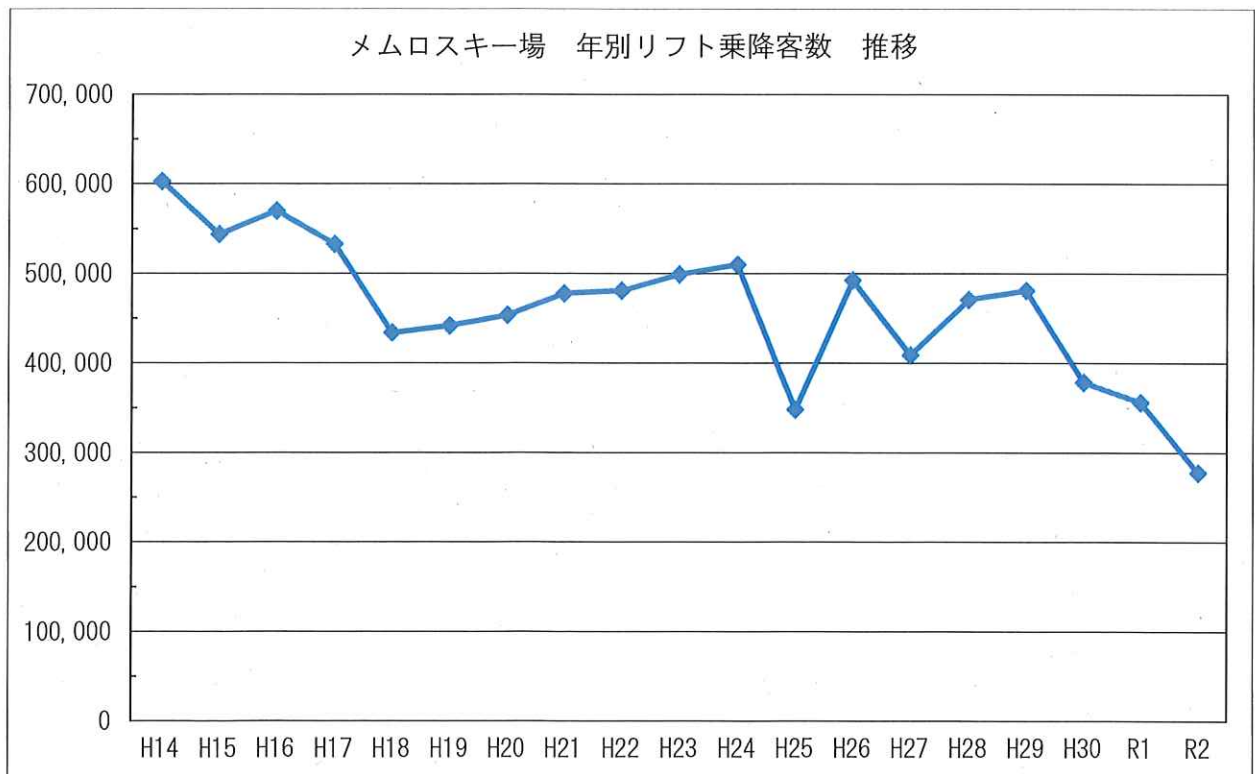
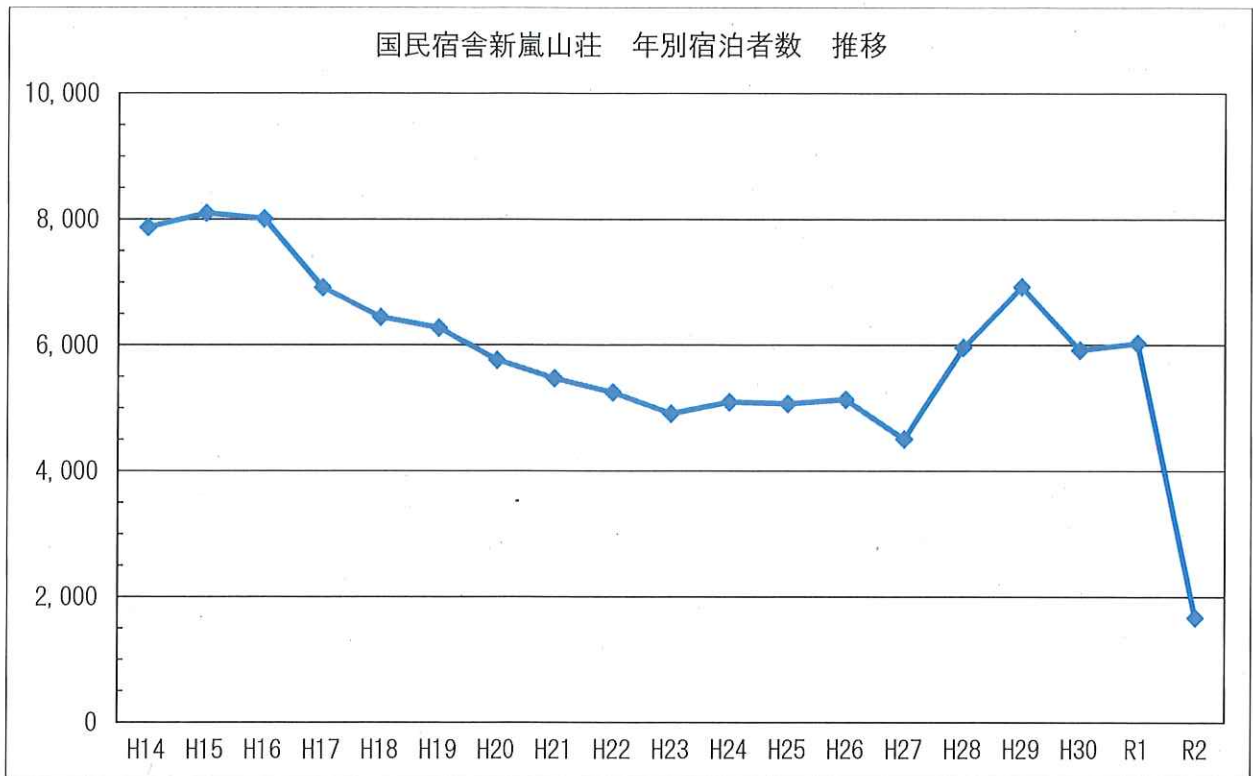
単位：千円

区 分	第17期 (29年度)	第18期 (30年度)	第19期 (元年度)	第20期 (2年度)	第21期 (3年度)	備考
売上高	216,102	200,892	191,216	162,419	223,018	
宿舎部門収入 (宿泊者数)	104,825 (6,936)	98,647 (5,930)	92,312 (6,035)	37,513 (1,678)	104,810 (7,745)	
スキー場部門収入 (リフト利用者数:人)	45,851 (481,174)	36,591 (378,874)	33,079 (356,354)	31,509 (278,058)	53,774 (361,040)	
キャンプ場・公園部門収入	0	0	0	2,328	13,893	
キャンプ場収入	0	0	0	2,328	13,893	
公園管理収入	0	0	0	0	0	
指定管理委託料	46,724	46,900	47,108	72,105	48,630	町からの委託料
牧場管理部門収入	18,702	18,754	18,717	18,964	1,911	町からの委託料
売上原価	36,820	32,789	31,271	13,381	24,793	
宿舎原価	36,820	32,789	31,271	13,381	24,793	原材料
販売費及び一般管理費	177,372	167,855	166,578	177,544	194,684	
宿舎部門	100,187	93,287	93,543	110,555	129,531	
人件費	70,606	63,497	64,074	77,958	89,000	
各種経費	29,581	29,790	29,469	32,597	40,531	
スキー場部門	45,201	45,309	42,935	43,751	63,504	
人件費	20,789	21,019	18,157	23,294	36,164	
各種経費	24,412	24,290	24,778	20,457	27,340	
キャンプ場・公園部門	13,891	13,193	14,922	9,302	0	
人件費	5,337	4,653	5,613	3,841	0	
各種経費	8,554	8,540	9,309	5,461	0	
牧場管理部門	16,753	14,582	13,591	12,346	0	
人件費	16,531	14,321	13,401	12,126	0	
各種経費	222	261	190	220	0	
共通部門	1,340	1,484	1,587	1,590	1,649	
役員報酬等	1,013	1,061	1,110	1,189	1,172	
減価償却費	327	423	477	401	477	
営業利益	1,910	248	△ 6,633	△ 28,506	3,541	
宿舎部門	△ 32,182	△ 27,429	△ 32,502	△ 86,423	△ 49,514	
スキー場部門	650	△ 8,718	△ 9,856	△ 12,242	△ 9,730	
キャンプ場・公園部門	△ 13,891	△ 13,193	△ 14,922	△ 6,974	13,893	
牧場管理部門	1,949	4,172	5,126	6,618	1,911	
共通部門	45,384	45,416	45,521	70,515	46,981	
営業外収益	2,030	1,641	1,581	15,428	1,520	
宿舎部門	1,089	880	915	14,208	1,520	切手販売手数料ほか
スキー場部門	904	738	643	1,209	0	テナント家賃ほか
キャンプ場・公園部門	6	6	6	5	0	散策道休憩所電気料
共通部門	31	17	17	6	0	受取利息
雑損失	0	0	0	0	0	
経常利益	3,940	1,889	△ 5,052	△ 13,078	5,061	
特別損失	0	0	6,926	1,204	0	
法人税等	919	0	180	0	0	
当期利益	3,021	1,889	△ 12,158	△ 14,282	5,061	

(1) 月別宿泊者数及びスキー場利用者数の推移



(2) 年別宿泊者数及びスキー場利用者数の推移





(3) 営業分析

第20期（令和2年度）めむろ新嵐山株式会社 営業分析

1. 宿泊

営業日数	365日
宿泊売上高	13,468,775円
宿泊者数	1,678人
平均宿泊者数 (人/日)	4.6人
平均単価 (円/日)	8,027円
定員稼働率 (61名)	7.5%

2. スキー場

営業日数	85日		
スキー場売上高	31,509,284円		
乗降者数	278,058人	D	261,705人
		N	16,353人
平均乗降者数 (人/日)	3,271.3人		
平均単価 (円/日)	370,697円		

3. 利用者の地域別割合

	芽室町内	十勝管内	北海道内	北海道外 (国外含む)	合計
宿泊	62人 3.7%	129人 7.7%	840人 50.1%	647人 38.5%	1,678人 100.0%
宴会	449人 66.4%	227人 33.6%	0人 0.0%	0人 0.0%	676人 100.0%
キャンプ場	272人 17.9%	891人 58.6%	341人 22.4%	17人 1.1%	1,521人 100.0%

4. 部門別営業収支

	宿舎	スキー場	公園 キャンプ場	牧場	共通	合計
売上高	37,512,848	31,509,284	2,328,167	18,964,546	72,105,005	162,419,850
売上原価	13,381,378					13,381,378
売上総利益	24,131,470	31,509,284	2,328,167	18,964,546	72,105,005	149,038,472
販売費及び 一般管理費	110,554,443	43,750,880	9,301,619	12,346,932	1,591,275	177,545,149
営業利益	▲ 86,422,973	▲ 12,241,596	▲ 6,973,452	6,617,614	70,513,730	▲ 28,506,677
営業外収益	14,208,066	1,209,202	5,455		5,561	15,428,284
雑損失	1,204,275					1,204,275
経常利益	▲ 73,419,182	▲ 11,032,394	▲ 6,967,997	6,617,614	70,519,291	▲ 14,282,668